



旭自治会 だより

令和5年8月1日 第66号 発行 旭自治会

TEL: 0771-22-5533

HPアドレス: kameoka-asahi.com (QRコード)



猛暑続く

8月、暦は葉月、もう旧暦では秋の訪れとなりますが、今は毎日が暑く連日の高気温に皆様如何がお過ごしですか、7月後半猛暑日が毎日続き、「命に影響がある気温」と表現され、気象庁が注意喚起をしておりました。何でも猛暑日が観測史上最多日数を記録したとか、皆様の健康管理にはくれぐれもご注意をお願いします。

今年度コロナ感染症の対応緩和により、今までの夏の催し物が多く再開されてきました。我が旭町も先月22日、皆様のご協力で「旭町納涼ふれあい祭」を再開することが出来ました。数えて第9回目となりました。再開に際してご協力ご参加いただきました多くの町民の皆様、様々な催しのためご準備をいただいた、各種団体の役員、自治委員の皆様、そして、素敵な演奏をいただいた、かめおかメトロ music さん、あさひ太鼓の皆さんに厚くお礼申し上げます。おかげ様で良いひと時を過ごせることが出来感謝しております。

当日は、大変暑い日で、また室内ということもあり蒸し風呂のような状態ではありましたが、キッチンカーの料理や子供たち参加のゲーム、花火など、参加いただいた方々からは「楽しい時間だった」と感想をいただき、高齢者から子供たちまで、また多くの来賓の皆様、総勢150名を超えるご参加をいただき無事開催できましたことに、改めて感謝申し上げます。

また、この8月には各区での夏祭りが予定されていますので、無事に、そして盛況でありますようお祈り申し上げます。

さて今年は、亀岡市の真夏の風物詩でありました、ビッグイベント大踊り大会や、花火大会も例年にも増して大規模で開催がされます、ただし花火大会、駅北はすべて有料のようです。今年は全国花火大会で最高賞に輝いた事業者のプロデュースで、1万発を超える豪華な内容となっているようです、観覧席には「音楽と花火のコラボ」光と音のパフォーマンスが楽しめるようです。是非近くで観覧したいものです。しかしながら昨年也大変な人出があり亀岡駅構内や周辺で危険な混雑があったようです。そのための有料化であるのかも知れませんが、何はともあれ無事故で安全な催事であればならないと思います。

真夏、土用、お盆、送り火、そして立秋、確実に秋が近づきますが、まだまだ猛暑の日々が続きます、皆様には毎日お仕事でお忙しいとは存じますが、良い休息をとり、体調管理に努めてください。 暑中お見舞い申し上げます。

旭町自治会長 吉川 肇



第9回旭町納涼ふれあい祭り 開催

4年ぶりの「納涼ふれあい祭り」がとても暑い中、多くの町民の方々に参加いただき、旭町に笑顔と笑い声が戻ってきました。「かめおかメトロ music」や「旭太鼓」の素晴らしい演奏もあり、どのくらい参加者があるか



わからない不安を抱えながらのキッチンカー出店も、予想以上の大盛況となりました。子どもたちも綿菓子やヨーヨー釣り、輪投げなどで大いに楽しみ、午後8時頃にはグラウンドでの花火が見られ、喜びの音が響き渡りました。

多くの方々に参加していただき、皆さんの心温まる笑顔と笑い声が戻ってきたように思いました。

市議会公共交通対策特別委員会 7名現地調査へ

令和5年7月4日亀岡市議会公共交通対策特別委員会 7名の皆様が「旭サポートカー」事業について聞きたいと旭コミュニティセンターに来られました。議員の質問は以下の通りです

- 1、サポートカーを始めた理由
- 2、現時点での運行状況
- 3、今の課題
- 4、運営資金はどうしているのか。
- 5、利用者の声・利用予約について … など



議員の皆様からは、旭町住民の実態に合わせたきめ細かい運営がなされていると感心されていきました。ただ単に買い物を助けるというだけでなく、自分で買い物に行くことで健康寿命を延ばすための取り組みにつながるなど、サポート委員会の皆さんのきめ細かな努力に敬意を表します。とお言葉をいただきました。これからも高齢者が毎日を安心して生活できるよう工夫していかなくてはならないと思いました。

8月お知らせ

・8月11日(金・祝日)～8月17日(木) 旭町自治会 お盆休み

【15日(火)・16日(水) サポートカーも休み】

・8月13日(日)・27日(日) 夏野菜フェア なごみの里あさひ

「旭 夢絵巻」から生まれた組織 ～第2弾～

講堂に貼ってある、子供たちが中心となって造った「旭町みらいマップ」どう実現しようか？

旭町の各団体の代表が集まり **1 地域コミュニティ部会 2 農業部会 3 環境部会**が「夢絵巻」の実現に向けての組織として活動しました。そして生まれた組織が現在続いている「ふるさと街づくり連絡協議会」です。

1. **地域コミュニティ部会**：この部会は、地域のコミュニティを活性化させることを目的としています。夏祭りを4つの区で合同開催することを提案しました。また、杉区の杉多目的広場が地域のものであることを広く知らせる活動も行いました。この活動から「旭町納涼祭」が生まれました。



2. **農業部会**：この部会は、旭の農産物の魅力を広め、農業の活性化を図ることを目指しています。部会は、100均市を大きくすることや公共の場所を活用して直売所を作ることを考えました。その結果、農産物を生産から販売までの6次産業化を目指した「なごみの里あさひ」が誕生しました。



3. **環境部会**：この部会は、旭をより美しくするために環境活動を行うことを目指しています。各区でゴミ拾いを一斉に行う「グリーン作戦」が生まれました。

地域の子供たちが描いた「旭町みらいマップ」には、彼らの希望と夢が詰まっています。協議会は、町民全体の協力を得て、それらの夢を実現し、より住みよい街づくりを進めることを目指しています。



「旭 夢絵巻」

は、平成17年ごろに始まった取り組みで、当時の役員の方々の希望と夢から生まれました。その思いは現在も旭町の役員の願いとして受け継がれ、事業として続けられています。また、以前に取材させてもらった「@ (キュウ)」という若者の団体も旭町の活性化に向けて取り組んでおり、さまざまな場所で夢の実現に向けて活動しています。「旭 夢絵巻」は、旭町にとって非常に重要な存在であり、その活動を通じて町の活性化が進んでいます。今後も

この取り組みを大切に、旭町の発展と住民の幸福に貢献できるよう努力し続けていきたいと願っています。